

# Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長  
デイリー C.K. ホワン  
(黄其光)



## 静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週(木曜日)12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
伊藤洋一郎



## 第 2718 回例会

平成 27 年 6 月 4 日 天候 晴

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「奉仕の理想」

《BGM》 「ベートーヴェン 交響曲第9番」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 牧田静二 君(静岡RC)  
杉山純一 君(静岡南RC)  
原田喜代美 君(静岡南RC)

### 《本日のお祝い》

お誕生日

6月6日 大角晋朗 君

結婚記念日

6月10日 小山宏之 君

### 《会長挨拶要旨》

時の記念日を迎えるにあたって



早いもので6月に  
入りました。

6月10日は『時の  
記念日』です。時の記  
念日は東京天文台と生  
活改善同盟会が1920  
年(大正9年)に「時間  
をきちんと守り欧米並

みに生活の改善、合理化を図ろう」という目的で制  
定したものです。

6月10日という日に合わせたのは、日本初の時計  
である「漏刻時計(水時計)が鐘鼓を打った」という  
記録が『日本書紀』に書いてあります。日本書紀に  
よれば、それが天智天皇10年4月25日で、この日  
が太陽暦であるグレゴリオ暦で見ると671年6月10  
日であることから6月10日としたと言われています。

日本書紀に「漏刻を新しき台に置く。初めて候時  
を打つ。鐘鼓を動かす。」との記述があるのが、そ  
れです。

ところで時について私たちは「一瞬の時」と言い  
「時の流れ」を想い、あるいは「時の積み重ね」な  
どと言うことがあります。

「一瞬の時」については2014年のベルリン映画祭  
の監督賞をもらった『6才のボクが、大人になるま  
で』の映画のラストシーンで、主人公は次のように  
言います。「一瞬は、今ある時間のこと。しかし  
その一瞬は、つながりを持っている。その一瞬、一  
瞬の全てに大切さが宿っている。」と言って、一瞬  
の大切さを語っています。

また「時の流れ」について思うことがあります。  
小椋桂の1976年の『道草』というアルバムの中に  
『時』という歌があります。その中で、時の流れに  
ついて歌っています。とてもとても遠い日に、街角  
で偶然に出会った少女のことを、大人になった作者  
が想って作られた歌で、小椋桂は次のように歌いま  
す。「時に長さがあるなんて だれが告げたのです  
か 僕はあの日の君の姿 今も見つめることができ  
るのに 時がすべて流すなんて だれが言ったの  
ですか 時はもとに戻れないと だれが決めたの  
ですか 心の中にあこがれが 今もふくらんでいく  
と感じているのに」

このように「時の流れ」が、あの日の一瞬を想  
い出に変えて、遠い昔の「偶然に出会った」シー  
ンの時が、せつなく大切なものに育ててゆくとい  
う歌詞になっています。

『時の記念日』を前にして、このような「一瞬の  
時について」、「時の流れということの意味につい  
て」、そして「時を重ねて今を生きることという  
ことについて」、考え、想いを新たにしました。

### 《会員卓話》

「私たちの第九

<UTAU DAIKU in ウィーン>に参加して」

杉田 至弘 君・新聞 桂子 君・大村 幸代 君





私たち3人は去る3月3日、オーストリアのウィーン楽友協会黄金ホールで開催された「UTAU DAIKU in ウィーン」に参加、現地オーストリアの人々、ウィーン少年合唱団と共にベートーベンの交響曲第九

番「歓喜の歌」を合唱してまいりました。

杉田会員が「第九」を創めたのは還暦を迎え「何か新しいことをやってみたい」「あの歓喜の歌を気持ち良く歌ってみたい」という単純なきっかけでした。静岡駅のコンコースで歌ったのを皮切りに伊豆の国市誕生記念、静岡フィル30周年記念などで歌っているうち段々はまってきました。

そんな時大村会員に「武道館で西本智美指揮の5000人の第九に出演しないか」と誘われ一緒に参加しました。そこへ新聞会員から「杉田さんが歌えるなら私も歌いたい」と、大阪城ホールで開催の佐渡裕指揮1万人の第九に参加をトライすることになりました。

毎年7回の東京ドイツ文化会館での練習、そして師走の大阪城ホールでのリハーサル、翌日の本番と続きます。練習や本番の前後に反省会と称して、東京、大阪の美味しいものの食べ歩きも、第九を楽しむ大きなモチベーションです。その反省会で「いつか本場のウィーンやドイツで世界の人々と一緒に歌いたいね」という事を話していたわけですが、その夢が思いがけず実現することになりました。

そんなとき偶然インターネットでUTAU DAIKU in ウィーンの申し込み募集を見つけましたが何せ3月3日大村さんにとっては最繁忙期のまっただ中ですが、ウィーンフィルがニューイヤーコンサートをやるあの楽友協会の黄金の間でウィーン少年合唱団といっしょに歌えるというのはとても魅力です。大村さんご家族職員の方のご理解をいただいて3人で参加することになりました。

そもそも一般公募で第九の合唱団をつくるというのは日本独特のイベントで、その始まりは大阪城ホールの開館記念として山本直純さんが始め、佐渡裕さんが引き継いでいる10000人の第九が先駆けで、現在日本の第九合唱人口は20万人とも言われています。

戦後平和と復興の象徴として演奏された第九が東日本大震災以降、震災からの復興と再生のために演奏される機会が多くなり、日本独自の文化とも言えるUTAU DAIKUを世界中の人と共有するきっかけともなりつつあります。

今回の公演の合唱団は、日本人一般公募約180人ウィーンのアマチュア合唱団80人、ウィーン少年合唱団のメンバーが十数人でした。ウィーン少年合唱団のメンバーも第九を歌うのは第一回UTAU DAIKUの折が初めてだったようです。このコンサートはオーストラリア大統領からも名誉特別講演をいただいており、プログラムには安倍首相も挨拶を寄せています。チケットの収益全額と当日会場での募金5500ユーロを合わせて200万円ほどを「福島県南相馬青少年文化スポーツ

育成協議会」に寄付することが出来ました。

### 《スマイル報告》

- 杉田至弘 君 本年度最後の卓話の機会をいただきありがとうございます。瓢箪から駒といましようか、いつか第九を海外でと冗談のように言っていましたが思いがけず実現しました。夢は見るものではなくかなえるものでしょうか。
- 新聞桂子 君
- 大村幸代 君
- 杉山純一 君 昨年10月当クラブの50周年例会での記念事業にご協賛いただきありがとうございます。又、由利ガバナー補佐、伊藤会長、望月様には当日出席を頂きました。記念事業も順調に進んでおり9月22日にスリランカで完成式典を行なう予定で当クラブより10名弱のメンバーが出席予定です。ご一緒いただける方は当クラブ原田喜代美君までご連絡願います。お礼とご報告としてスマイルさせていただきます。
- (静岡南RC)
- 松下陸朗 君 本日、会員卓話のオオトリ、杉田、新聞大村会員のウィーン帰朝報告で本年度の卓話プログラムは最終回。来賓16名、会員12名の方々に有意義な卓話を頂きました。感謝を込めてスマイルします。
- 川口尚宜君 2つ良いことがありますスマイルします。1つは昨日日経に小麦アレルギーの方向け米粉パンミックス粉が県内杏林堂で発売となる記事が出ました。2つめは6月1日専務取締役昇格しました。今後とも宜しく願います。
- 望月康弘 君 一昨日のあすなる会ゴルフコンペで思いがけず優勝しました。昨日と一日違いで天候は晴れ。ホトトギスの声を聞きながら楽しい一日でした。幹事の高柳さん、皆様に感謝してスマイルします。
- 伊藤洋一郎 君 高熱にうなされ本日より理事会を欠席してしまいました。3日間高熱の中で妻の事を忘れなかったのに、ロータリー理事会を忘れた事を懺悔してスマイルします。妻よりもロータリーです。
- 富井一矢 君 引越し準備の為ダンボールに囲まれ生活していましたが、いよいよ6日に引越します。大変な時こそスマイルかな？と思いました。

### 《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
6/4	51(50)	37	13	-	-	-
5/28	50(48)	37	11	-	-	-
5/21	50(48)	37	11	7	4	91.67%